

ロータリー財団月間によせて 今こそ財団を学ぶ時

ロータリー財団委員会 委員長

溝畑正信 (東大阪東RC)



今月はロータリー財団月間です。ロータリー財団月間である11月に、財団に焦点を当てた卓話やプログラムを是非行なって頂きたいと思います。

*本年度の財団目標

李 東建 (D.K.Lee) 2013-14年度ロータリー財団管理委員長は財団目標を、

1. ポリオを撲滅し、ポリオのない世界という夢をかたちにする。
2. 新しい補助金モデルの導入を成功させ、画期的な未来の夢計画を全世界で実施する。
3. より公平で平和な世界を築くため、革新的なプロジェクトと創造的なパートナーシップに参加する。
4. 年次基金、恒久基金、ポリオ・プラス基金を支援して、ロータリー財団が自分たちの財団であるという自覚と誇りを築く。

としています。

*ポリオ撲滅に関して、

私たちが知っておくべきことはなんですか？

1988年から始まった世界ポリオ撲滅推進計画 (GPEI) は、過去に類を見ない大規模な国際的協力に基づく公衆衛生プロジェクトで、2011年に650件だったポリオの発症が2012年には223件に減少しています。

ロータリーとビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団は、リスボンで開催されたロータリー国際大会において、ポリオ撲滅活動を支援するパートナーシップの拡大を発表しました。この新しいパートナーシップでは、2018年までの5年間、ロータリーがポリオ撲滅に寄せる寄付に対して、ゲイツ財団が2倍の額を上乗せすることとなります (年間3,500万ドルまで)。

この「End Polio Now - Make History Today」と呼ばれる協同活動は、世界保健機関 (WHO)、ユニセフ、アメリカ疾病対策センター、ゲイツ財団、RI が2018年までにポリオウイルスを一掃するための、2913~18年ポリオ撲滅ならびに終盤戦に向けての戦略計画のため

に55億ドルをあつめるための一環として行われるものです。

今年の世界のポリオ発生件数は、2013年10月1日現在、287件です。(昨年の同時期は154件、1年間の総発生件数は223件でした。)

内訳はナイジェリア49件 (90)、パキスタン36件 (40)、アフガニスタン6件 (19)、チャド (5)、エチオピア4件 (0)、サウススーダン3件 (0)、ケニア14件 (0)、ソマリア175件 (0)、ニジェール (1) です。

[流行国91 (149)、非流行国196 (5)]

()内は昨年同時期の発生数。

25年間にわたる努力が実り、ロータリーと協同団体は、ポリオの撲滅にあと一步というところまでたどり着きました。しかし、完全な撲滅を果たすには、今、すべての力を振り絞らなければなりません。ポリオ撲滅のために一層のご協力をお願い致します。

*「未来の夢計画」とは何であり、 クラブにとって何を意味しますか？

2013-14年度から、未来の夢計画が世界中で導入されました。長い間、国際親善奨学生に代表される教育的プログラムがその主流でしたが、次第に人道的支援がロータリー財団の主流になってきました。

1965年から2000年までの35年間で1万件であったマッチング・グラントは、2000年から2004年の4年間で1万件を超えました。この人道的分野でのマッチング・グラントの爆発的成長は、ロータリー財団が取り組むべき問題点を浮き彫りにし、その長い歴史の中で最も革新的な変革「未来の夢計画」誕生の、一つの要因となりました。

少額プロジェクトの増加は、補助金を上回る経費とともに膨大な事務量を生じ、あふれる書類に、人的対応が追いつかなくなったのです。さらに、小さなプロジェクトでは、せつかくの奉仕も持続的効果が望めないなど、多くの問題点が指摘されました。

そこでロータリー財団は「Future Vision Plan-----未

来の夢計画」委員会を発足させ、ロータリー財団100周年(2017年)を迎えた時、財団がいかにあるべきか、の検討を始めました。そのコンセプトは、●プログラムと運営の簡素化●ロータリー財団が自分たちの財団であることを自覚し、身近な存在とすること●世界的目標と地元の目標の両方を果たすための資金を提供することなど、「素晴らしい財団」とするための骨格を決めました。クラブと地区は、地区補助金とグローバル補助金の2種類の補助金制度を通じて、地元や海外での奉仕活動のような人道的プロジェクト、また奨学金や職業研修チームなどの教育的プロジェクトを実施することができます。またパッケージ・グラントでは、ロータリー財団が選んだ戦略パートナー(協力組織)との提携の下に、地区とクラブが活動に当たり、資金は全額、WF(国際財団活動資金)および協力組織から提供されるものです。

***新しい補助金制度とは、どのようなものですか？**

1. 地区補助金は、財団の使命を支える教育的および人道的活動(職業研修チーム、奨学金、人道的奉仕プロジェクト、文化交流を含む)を対象とし、毎年一括でDDFの50%を各クラブに配分されます。比較的規模の小さい活動やプロジェクト向きで、地元と海外いずれの活動にも使用され、幅広い指針の下、地区に裁量権が与えられています。
2. グローバル補助金は、グローバル補助金として使用できるDDFの最大額は、3年前の年次基金の25%+恒久基金の運用益の25%+前年度からの繰越金で、対象は6つの重点分野に属し、持続的で測定可能なプロジェクトに対し、総額、最低3万ドル以上の大規模プロジェクト向き、クラブ拠出金+地区の補助金+財団の補助金(15,000ドル以上)のものです。
3. パッケージ・グラントは、ロータリー財団が選んだ戦略パートナー(協力組織)との提携の下に、地区とクラブが活動に当たります。資金は全額、WF(国際財団活動資金)および協力組織から提供されるも

ので、グローバル補助金と類似し、重点分野に関連するプロジェクトや活動(奨学金、人道的プロジェクト、職業研修)を実施するためのもので、現在、アガ・カーン大学、マーシー・シップ、ユネスコ水教育研究所の3つ戦略パートナーとのパッケージ・グラントが提供されています。

【日本のグローバル補助金・奨学生の承認された件数】

9月1日の時点で、今年度の日本のGG奨学生は20人です。これは、アメリカ全体の30人に次いで2番目で、全世界では25%です。受入れが一番多かった国は、イギリスの32人です。

<世界の補助金申請状況>

9月16日現在

申請	地区補助金	グローバル補助金	パッケージ・グラント
申請書作成中	285	4,490	676
承認済	169	137	16

【地区補助金】

2013-14年度からの地区補助金は、2012-13年度までの地区補助金と日本語訳は同じですが、別のプロジェクトです。相違点を一覧にしたものです。

項目	今年度から地区補助金(District Grant)	昨年度まで地区補助金(District Simplified Grant)
申請方法	オンラインで「使用計画、銀行口座情報等」を提出	書面で「申請総額と銀行口座情報等」を提出
申請時期	前年度7月1日から実施年度5月15日	前年度と実施年度の7月1日から3月31日
報告時期	補助金配分後	プロジェクト完了後
報告期限	支払から1年または完了後2ヵ月以内に最終報告	支払から1年毎に中間報告全プロジェクト完了後2ヵ月以内に最終報告
報告書類	オンラインで「実際の配分額と通帳の写し」を提出	書面で「地区の概要報告書、個別プロジェクトの完了報告書、通帳の写し」を提出
支払い条件	前年度の地区補助金がCLOSEDしていること	前年度の地区補助金の50%以上の報告が受理されていること。
資金	DDFの50%が上限(3年前の寄付額による)	DDFの20%が上限(3年前の寄付額による)
用途	奨学金など教育的分野にも利用可能	人道的プロジェクト

* 寄付はどのようなのですか？

1. 年次基金は、3年間据置され、財団活動資金として、運用益は財団運営費として使用されます。寄付は、ポール・ハリス・フェロー 認証の対象となります。地元や海外で実施されるロータリー財団の幅広い活動を支援する主な資金源で、シェア・システムを通じて、ロータリー財団への寄付は、世界と人々の生活をより良くするための補助金となります。50%が国際財団活動資金(WF)、50%が地区財団活動資金(DDF)として使用されます。
2. ポリオ・プラス基金は、ポリオのない世界のため、ロータリーのポリオ撲滅活動につかわれます。寄付は、ポール・ハリス・フェロー 認証の対象となります。
3. 恒久基金は、ロータリー財団の確かな明日を築くためのものです。恒久基金はロータリー平和センターも支援しています。寄付は、ベネファクター 認証の対象となります。恒久基金に寄せられた寄付は、恒久的に保存されます。この基金の投資収益の一部は、財団の確かな明日を築くために、年次プログラム基金を補い、ロータリーの最優先活動の支援に役立てられます。
4. ロータリー平和センターでは、未来のリーダーが、紛争予防や解決に必要な研修を受け、専門的な経験を積む機会を提供しています。平和な世界を築くため、寄付(1回限り、または自動定期寄付)をお寄せください。
5. 財団から承認された特定のプロジェクトに現金を寄付することができます。寄付の際には補助金番号が必要となります。寄付は補助金プロジェクトに送られます。